

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
(1) 誰もが楽しめる スポーツ 機会の創出	<b>○市民体育祭実行委員会負担金(1,800千円)</b> ◆関連目標：Ⅲスポーツによる賑わいとまちづくり (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生	A	1	・各地区の活動内容を精査してみようか。
	B	6	・運営側はとてもしっかりしているが、地区運動会で参加者を集める苦労は変わっていないので、種目の見直しを図り、地区運動会からの盛り上がりを感じられるよう期待したい。市民体育祭で上位を目指すために練習に励む地区があるので、その点は地域コミュニティとしての一体感が感じられる。 ・全国的にも珍しい大会なので、継続していくべき。 ・いろいろと課題が見えてきているので、明確になったところから取り組んでいくべき。 ・八幡地区、松山地区への参加要請を継続していくべき。 ・各地区から市民が一堂に集まり、誰でも参加できる種目を考えていく必要がある。 ・多くの市民が参加できる大会になるように、意見を集めたらどうか。	
	C	2	・課題等を踏まえ、事業の対象や手法の見直しを図る必要がある。	
	D	0		
	<b>○スポーツ推進委員会負担金(2,233千円)</b> ▽酒田市体育振興会 (予算なし)	A	1	・スポーツ推進委員の位置づけと役割について、市民に広く周知していく必要がある。スポーツの普及において、技術指導や競技力向上のために配置されていると勘違いしている人が多数いる。
	B	3	・推進委員は2年ごとの改選時期もあり、充足率を満たすとともに、人材育成を図る必要がある。	
	C	3	・推進委員の平均年齢はどれくらいか。近隣市町では、定期的に指導者講習会をしているようだが、報酬を増やすことには賛成だが、指導者の育成を強化し、地区で活躍できる場を設けてはどうか。総合型地域スポーツクラブとも連携して活動することが必要。 ・指導者の育成と、具体的なカリキュラムの場が難しい。競技技術の向上などを求められるので、指導者個々に任されるのは限界がある。	
	D	2	・酒田市のスポーツイベントに対する活動しか見えない。地域活動や、体育協会活動に協力するなど、目に見える活動と報酬に見合った行動をお願いしたい。 ・目標達成のための課題が多く、研修の充実と資質の向上を図る必要がある。	
	<b>○総合型地域スポーツクラブへの側面的支援</b> (予算なし)	A	1	・市の方針を支持する。
	B	2	・令和元年度に設立した「情報交換会」を継続して開催できるようにお願いしたい。令和3年度から新たに「登録認証制度」が運用されるので、離脱するクラブがあるかもしれないので、生涯スポーツができる場が少なくなる。また、使用料減免の見直しについては、クラブの死活問題につながる。 ・会議等の回数を重ねながら、話し合う機会は大切と思う。	
	C	4	・スポ少や部活動の関係で、大会参加に対して選択できるように、参加への公平性など子どもたちの負担とならないよう配慮をお願いしたい。 ・クラブ間に刺激を与えるなど、「情報交換会」の有効利用を促進してほしい。	
	D	2	・総合型地域スポーツクラブ本来の独立性がなく、行政の補助頼りになりがちである。 ・課題が山積しており、設立したものの、中身のないクラブが多く機能していない。行政の積極的なかわりが必要。	

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
(2) 子どもの スポーツ 活動の推 進	○スポーツ少年団活動事業 (3,363千円)	A	1	・庄内、酒田地区に特徴的なスポーツ、もしくは地域に適したスポーツがあるのではといった、調査があっても良い。
	B	4	・少子化だけが原因ではないと考えるので、加入率向上の手立てが必要。 ・概ね、現行の方法、手法で推進していくべき。 ・勝利至上主義が浸透してきている中で、スポーツ少年団の本来の活動について、しっかりと見直しをしていかないと、中途半端な活動になってしまうのではないかと。	
	C	3	・スポーツ活動の意義について、指導者にも周知願いたい。 ・スポーツ活動の意義は、漠然としてではあるが誰もが認識していると思うので、それをしっかり実感して取り組むまで、どのようにできるかが重要。 ・少子化が進み、団員が少ないのでチームが組めない。身体を動かすことより、ゲームをする子どもが増えてきている現状。10年、20年後見据えて、地域（行政・学校・各種スポーツ団体）が一丸となって取り組む必要がある。	
	D	0		
	○B&G平田海洋クラブ活動補助金 (58千円)	A	1	・市の方針を支持する。
	B	3	・施設の工事はどうなったのか。もっと気軽に楽しめるように、宣伝が必要。 ・補助金だけに頼れない現状をどのように進めて行くか。 ・補助金→負担金となって、行政が一層かわりを持ったことは評価できる。海洋性スポーツ（カヤック・カヌー）を広めるために、広報等だけの周知ではなく、地域の回覧板などによる周知も必要。	
	C	4	・事業の周知方法を改善する必要がある。 ・課題をクリアすべく、工夫が必要。	
	D	0		
	▽酒田市中学校部活動等ガイドラインの運用	A	0	
	B	3	・課外活動についての意義を、今一度協議する時期ではないか。	
	C	5	・アンケートを取るほかに、対策はないのか。 ・ガイドラインによる活動だけでは、技術向上にもつながらず不完全燃焼に終わってしまうこともある。ある程度の活動時間の確保も必要と考える。 ・総合型地域スポーツクラブと連携する前に、現存する総合型地域スポーツクラブの見直しと充実を図る必要がある。 ・中体連の考え方なのか、教育委員会、校長会、独自の考え方なのかわかりづらく、現場が混乱している。	
	D	0		
	▽「もっと遊べ酒田の子ども」運動テキストの活用 ▽酒田市体育協会 スポーツ教室の実施	A	1	・継続的な、データの蓄積が行えればと思う。
	B	6	・遊びの中から、スポーツの楽しさを知ってもらいたい。屋外での遊びが重要と考える。 ・体育協会が実施している「ちびっこスポーツクラブ」の継続。 ・課題がある中で、具体的な対応があると考えやすいのでは。 ・基本動作を遊びの中で身につけられるようなプログラムの継続が必要。そのデータの蓄積と解析が必要。	
	C	2	・課題を踏まえ、事業の見直しが必要。 ・スポーツ推進委員の協力と活用を。	
	D	0		

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
(3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進	▽子育て世代、働き世代、高齢者のスポーツ活動の充実	A	0	
	▽酒田市体育協会 スポーツ教室の実施	B	3	・18歳から22歳までの運動実施率がその後の健康に関係するものと考えられる。調査できないものか。 ・各競技協会、連盟に所属している団体や愛好会等の把握をする必要がある。 ・底辺拡大につながっているのか、リピーターなのか調査が必要。
		C	5	・抽象的でなかなか難しい。 ・高齢者のスポーツ実施傾向は高まっているが、子育て世代や働き世代にどのようにアプローチしていくか課題と思う。 ・成人のスポーツ実施率を向上させるための工夫が必要→総合型地域スポーツクラブの充実。 ・スポーツ推進委員、体振、スポ少指導者の協力、活用を。
		D	0	
(4) 障がい者のスポーツ活動の推進	▽スポーツ推進委員会山形県大会 (スポ推事業)	A	1	・議論を進めながら、進めて行く必要がある。
	▽ホストタウン推進協議会	B	2	
		C	5	・実際に実施している障がい者スポーツ大会等の把握が必要。 ・小学校への体験期間が短かった。ボッチャ以外に体験できる種目はないのか。 ・全国、東北、県大会等の研修内容を地元の研修にどのように工夫して充実させるか。 ・事業等へのスポーツ推進委員の積極的な参加が望ましく、その活動に対する報酬増であればよいのでは。
		D	0	

基本目標：Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
(1) トップアスリートの育成・強化の推進	○白崎資金スポーツ指導者養成委託料 (760千円)	A	2	
		B	4	・講師選定が大変かと思うが、継続するべき。
		C	3	・数年おきに、酒田市のスポーツ団体で合同の講演会（市民参加型）等が開催できれば良い。 ・事業の対象や手法の見直しを検討する必要がある。 ・課題に対するアプローチが明確でない。
		D	0	
	○県駅伝酒田飽海実行委員会負担金 (1,000千円)	A	1	
		B	5	・市内中継所の通過を楽しみにしている市民が多く、選手の発掘やアスリートとしての目標となっている。
		C	2	・強力な支援が必要。
		D	0	
	○県ジュニア駅伝酒田市実行委員会負担金 (500千円)	A	1	
		B	6	・酒田市の大会結果を楽しみにしている市民が多く、選手の発掘や出場の実現が目標となっている。 ・検討事項が見えてきている。 ・小体連、中体連と協力して出場選手の確保対策が必要。
		C	2	・課題をクリアして、大会に出場しやすい環境の醸成。
		D	0	
	○酒田市体育協会事業補助金 (12,211千円) ◆関連目標：Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実 (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	A	1	
		B	4	・酒田市にとって、体育協会が必要なのか、不必要なのかをはっきりすべき。必要であるのなら、それなりに補助金等で支援し、体育協会としても加盟団体の協力をもっと仰ぐべき。
		C	3	・事業の対象や手法の見直しを検討する必要がある。 ・毎年開催される各種競技大会による経済波及効果はどれくらいあったのか、調査するべき。 ・大会開催の周知方法を検討するべき。
		D	0	
(2) 競技スポーツに対する推進体制の充実	○スポーツ振興激励金交付事業 (3,185千円)	A	3	
		B	6	・全国大会、東北大会等への出場を励みにしている選手が多く、激励金の交付は選手の発掘やアスリートの活躍に繋がっている。 ・概ね現行のとおり推進していくべき。 ・激励金の底上げを検討してはどうか。
		C	0	
		D	0	
	○白崎資金スポーツ優秀選手表彰 (280千円)	A	2	
		B	6	・体育協会表彰と統合して、幅広く表彰すべきと考える。 ・市と体協の表彰規定が違うので、納得いくすり合わせが必要。
		C	1	・市と体協の表彰規定のすり合わせが必要。
		D	0	

基本目標：Ⅱ感動と活力に満ちた競技スポーツ

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
	○体育大会負担金(1,200千円)	A	1	・市の方針を支持する。
		B	3	
		C	3	・体育大会の役割を果たせたのか、検証が必要。 ・支援と、費用の問題が残る。 ・各競技団体との開催方法について検討が必要。
		D	0	
	○山形県体育協会負担金(236千円) ○山形県スポーツ振興21世紀協会負担金(1,065千円) (※モンテディオ山形への支援)	A	1	
		B	4	・アランマーレの支援にシフトできないか。
		C	3	・酒田市にとってメリットはあるのか。支援の在り方について、再考すべき。 ・モンテディオ山形の応援デーをどれくらいの市民が知っているのか、周知方法を工夫すべき。
		D	0	
	○アランマーレ後援会会費(30千円)	A	3	
		B	4	・アランマーレにもっと支援の強化はできないのか。 ・継続していくべき。
		C	1	・より、強力に支援する必要あり。
		D	0	
(3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出	○みなと酒田トライアスロンおしんレース大会補助金(1,309千円) ◆関連目標：Ⅲスポーツによる賑わいとまちづくり (1) スポーツツーリズムの推進	A	1	
		B	6	・記念大会としての期待も大きい。全国だけでなく、国外からの参加者も増えてきている。 ・大会の周知方法を検討すべき。 ・他団体と連携して取り組むことで、市全体の盛り上がりにつながる。
		C	2	・一定の評価はできると思うが、北港付近での開催のため、市民の観戦が少ない。 ・事業の対象や方法について検討する必要がある。
		D	0	
	○全庄内スキー選手権大会補助金(727千円)	A	1	・市の方針を支持する。
		B	0	
		C	4	・松山スキー場を会場として開催しなければならないのか。 ・冬季のスポーツ振興を継続してほしい。
		D	1	・単発ではあるが、県外からの参加者があれば経済波及効果も見込めると思うのだが。
	○東北ボート選手権大会補助金(100千円) ○全日本社会人ソフトテニス選手権大会補助金(300千円) ▽アランマーレやモンテディオ山形の地元開催試合の情報発信	A	1	
		B	3	
		C	3	・運営の苦勞と、大会の充実を考慮にいれば、支援を拡充すべき。
		D	0	
目標数値について	A	1	・種目数でよい。	
	B	2		
	C	3	・目標数値そのものに、あまり意味がないのでは。なぜ、国体だけなのか。	
	D	0		

基本目標：Ⅲスポーツによる賑わいとまちづくり

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
(1) スポーツ ツーリズム の推進	○酒田つや姫ハーフマラソン大会実行委員会負担金 (13,000千円)	A	3	・酒田市をPRしていくためにも必要な大会である。
		B	4	・スポーツツーリズムを強化し、酒田市全体が盛り上がる大会になることを期待する。 ・参加者の自由度が高いため、より幅広い年齢層が参加できるように工夫すべき。 ・ボランティアや交通規制等、大会に対して適正規模を確認しながら開催すべき。
		C	2	・ボランティアをどのように育成するのか、議論が必要。 ・課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しをし、更に充実した大会にすべき。 ・参加者の中には、魅力がないとの意見もある。参加費が高くても、魅力ある大会にするべき。
		D	0	
(2) スポーツ を通じた 地域コ ミュニ ティの維 持・再生	○巡回駅伝競走大会実行委員会負担金 (400千円)	A	1	・ボランティアをどのように育成するのか、議論が必要。
		B	4	・陸上競技協会が外れた分、今までどおりから、柔軟な改善も必要。
		C	3	・課題等を踏まえ、事業の手法を見直し検討する必要がある。 ・審判や中継所役員の確保、コースの検証が必要。
		D	1	・参加者、応援（協力）のモラルが低下している。
(3) ホストタ ウン登録 における ニュー ジーラン ドとの交 流	▽ホストタウン推進協議会	A	1	
		B	4	・市民への周知が弱いので、検討すべき。 ・他課や他団体と連携して取り組むことで、市全体の盛り上がりにつながる。
		C	2	・課題をクリアすべく、事業の見直しを検討する必要がある。 ・市民へ、ホストタウンとしてのPRが必要。
		D	1	・今後の事業が課題。

基本目標：Ⅳ安全安心なスポーツ活動のための環境整備

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
(1) スポーツ 施設の整 備等	○施設整備プラン(仮称)の策定→「酒田市体育施設整備方針」 (予算なし)	A	0	
		B	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備方針を開示いただきたい。</li> <li>・課題が見えてきている。</li> <li>・整備方針の基本的な考え方を具体的に進めてほしい。</li> <li>・国体記念体育館の建設に向けた基金等の創設が必要。</li> </ul>
		C	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会を誘致し、交流人口の拡大を図っていくための施設の充実が必要。</li> <li>・小中高の空き校舎、旧三町の体育施設の耐震化など課題は山積である。</li> </ul>
		D	0	
	○指定管理者制度の運用 体育施設管理事業 (133,147千円)	A	1	
		B	6	
		C	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理で経費削減になったとしても、補助金や助成金が増えれば同じではないか。</li> </ul>
		D		
	○施設使用料、減免基準の見直し	A	0	
		B	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減額および免除率1.0割は高すぎ。利用者負担を一定程度確保するべき。</li> <li>・基準の見直しに対応した点は評価できる。実際の現場の反応はどうか。</li> <li>・スポーツ振興の観点から、進めて行くべき。</li> </ul>
		C	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準や事業の見直しが必要。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブへの減免は必要。活動の維持継続に繋がる。</li> </ul>
		D	0	
	○体育施設管理事業 (313,734千円) (施設の維持管理経費、指定管理運営経費、B&G海洋センター運 営経費)	A	1	
		B	4	
		C	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング対象事業はどのように決まるのか。課題を踏まえ、見直しを図る必要がある。</li> </ul>
		D	0	
	○体育施設整備事業 (134,689千円) (野球場衝撃緩衝材改修、国体記念体育館建具改修、親子スポー ツ会館及び武道館高圧受電設備更新、八森自然公園受水槽更新)	A	2	
		B	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に対応することで効果が確認できる。</li> <li>・安全安心面は、即対応が必須。</li> </ul>
		C	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を踏まえ、事業の対象や手法について見直す必要あり。</li> </ul>
		D	0	
	○パークゴルフ場整備検討事業 (360千円)	A	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を考えた取組に感謝。いつでも、誰でも楽しめるゴルフ場でありたい。</li> </ul>
		B	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より充実した生涯スポーツ施設を整備するべき。</li> </ul>
		C	2	
		D	0	

基本目標：Ⅳ安全安心なスポーツ活動のための環境整備

推進項目	令和元年度 事業計画 (PLAN)	事業の評価 (CHECK)		
	○国体記念体育館改修事業 (3,300千円)	A	2	
		B	4	・次年度の課題への対応を期待する。 ・各種競技団体の予定を加味した改修計画を。 ・国体記念体育館の建設に向けた基金等の創設が必要。
		C	2	・課題をクリアすべく、事業を実施するべき。
		D	0	
	○体育施設耐震改修事業 (55,350千円)	A	3	
		B	5	・概ね、現行方法で推進をはかるべき。 ・既存の体育施設を活用できるようにするべき。
		C	0	
		D	0	
(2) スポーツ 施設の利 用促進	▽体育施設以外の施設の利用	A	1	
		B	2	
		C	5	・課題を踏まえ、事業の見直しを図るべき。 ・現状で、どこで、どのようなことができるのかわからないので、具体的に示すべき。 ・少人数での利用に適している。
		D	0	
	○予約管理システムの運用 ・体育施設管理事業 (1,415千円) ・体育施設整備事業 (675千円)	A	1	・不適切な予約の見極めが必要。
		B	4	・利用者が公平に利用できるよう名システムを。直前キャンセル料の徴収を検討。
		C	3	・課題を踏まえ、事業の対象や手法について見直す必要あり。 ・予約のルールのもと、一部に偏らないような仕組み作りが必要。
		D	0	
(3) 安全なス ポーツ活 動の推進	○各事業における指導者育成	A	1	
		B	0	
		C	3	・指導者育成のための具体的な方策を検討するべき。 ・有資格者の指導者を養成するべき。
		D	1	・育成すべきである。
	○AEDの整備 (体育施設管理事業473千円)	A	1	
		B	4	・施設利用者への周知が必要。障がい者にもわかるように。
		C	1	・安全なスポーツ環境を提供するために、必要である。
		D	0	
	○体育施設敷地内禁煙の実施 (予算なし)	A	7	・実施を徹底するべき。 ・大変良いことではあるが、愛煙家への配慮はどうするべきか。 ・完全実施の履行。 ・分煙の設置も必要。
		B	2	・もっと早く、実施すべきであった。
		C	0	
		D	0	